



## 「ちょっと人生が楽しくなった話」

教諭 藤原 明子

12月の全校朝会で、生徒のみなさんに、次のように話しました。

私が数年前に、青年海外協力隊員としてパナマで過ごした中で、気がついたことや感じたことを皆さんに伝えたいと思います。それは、本当に本当にごく当たり前のことなのですが、それに改めて気が付くことで、私の人生もちょっとだけ楽しくなりました。そんなことを、みなさんに少しおすそ分けします。

1年9ヶ月の異文化での暮らしは、最初は戸惑いだけでした。言語が違うことは当たり前ですが、それよりも生活の仕方や仕事に対する考え方、つまり、文化の違いの中で生活するということが、想像していたよりも大変で、落ち込む夜もたくさんありました。

しかしながら、その1年9ヶ月の間、私は日本に帰ることはしませんでした。気がつけば、パナマという国も、自分の住む村も、そこに生きる人々のことも大好きになっていたのです。最後の別れの日は、朝からずーっと泣きっぱなしで、ホストファミリーや仲間には笑われてしまうほどでした。

なぜ、「しんどい」「無理」と思っていた私が、「ここから離れたくない」と思うまでになったのか。それは、「自分と他人は違うのだ」ということに気がついたからです。とても当たり前なことですね。

パナマで暮らし始めた当初、活動し始めた当初は、「なんで、この人たちはこうしないのだろう」「なんで、そんなこと言うのだろう」「こっちの方がいいのに」

「ああした方がいいのに」「おかしくない？」と、自分の価値観や考えと違うものをなかなか受け入れられませんでした。

しかし、活動する中で国際協力とは何だろう、私に何ができるだろうと何度も考え悩むうちに「協力するために、理解すること。理解するために、協力すること。」この流れの中で、い



ろいろなことが生み出されることに気が付きました。そして、これは、国際協力なんて大きな話ではなく、普通に生きていく中でとても大事なことなのではと気が付いたので。「相手と自分は違う。それぞれの当たり前がある。それを認め合っていけばいいんだ。」そんな当たり前のことに気付けたことで、私は、もっともっと相手を知ろうと努力し、この国を知ろうと努めるようになりました。様々な人と関わったり経験したりしていく中で、相手の考えやその背景を知り、違う角度から見る余裕が出てきたのです。

そして、そうしていくことで素敵な部分もたくさん感じられるようになったのです。

そうしたら、「嫌」や「NO」の思いでいっぱい

だった私の心の中に、どんどん「好き」や「OK」が増えていきました。ちょっと視点を変えただけで、毎日が楽しくなっていたのです。

「仲良くなるために、相手を知る。相手を知るために、仲良くなる。」そんな風に生きていけたら、素敵な出会いがたくさん訪れ、人生を豊かにしてくれる気がしませんか。皆さんは、先入観で誰かを拒絶していませんか。「嫌だな」と思う相手やものごと、関わってみたら実はすごく素敵な人や素敵な経験になるかもしれません。ひとつの出来事や、少しの関わりで誰かを判断するのはもったいない。知らない相手は、やはり怖いものです。でも、せっかく出会ったのだから、ぜひ「知っている人」にしたい。この板倉中学校で出会ったのも、この先の出会いも、何かの縁です。

ぜひ、たくさんの出会いを大切にしてください。

パナマでの気持ちを思い出しながら、板中生がますます、違いを認め合う、個性を尊重し合うなど、多様性を受容する人間となってほしいと願いました。保護者、地域の皆様からの温かなご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



2学期、生徒たちは、日々の授業に加えて、体育祭や合唱祭、いじめ見逃しゼロスクール集会、生徒会役員選挙などを通して大きく成長しました。まさに実りの2学期。板倉中の実りを支えてくださった保護者、地域の皆様に、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。終業式で全校生徒に次のように語りかけました。

一番長い2学期が終了しようとしています。スタートは、熱中症予防のために、グラウンド使用を制限しなければならないような酷暑の最中でした。今日は、すっかり冬景色の中で終業式を迎えました。

全校の皆さん一人一人が、それぞれの目標に向かって一生懸命努力したことを、また、友人の努力を応援したり認め合ったりして、充実した2学期を過ごしながら成長したことを、とても嬉しく、頼もしく思います。

そんな皆さんの、輝く将来を確信している私には、気になっていることがあります。それは、最近皆さんのような未来を担う若者たちに向けて「皆さんが大人になるころには、AIに仕事を奪われますよ」というメッセージが発せられることです。本当にそうでしょうか。

「仕事を奪われる」、このことは、18世紀に起こった産業革命でも言われていたそうです。産業革命の中心は、イギリス北西部の都市、マンチェスターでした。マンチェスターには綿紡績の工場が集まっていて、機織り（はたおり）がとても盛んでした。イギリス全土から機織りの仕事を求めて労働者が集まり、子供も含めた一家全員が紡績の労働者だということも珍しくなかったそうです。

ところが1790年頃、力織機（りきしよつき）という機械が導入されると、それまでは人がやっていた作業を、手作業では考えられないスピードで機械が行い、大量の綿織物がすぐできるようになりました。

その時、まさに「機械に仕事を奪われる」と大きな危機感をもった労働者たちは、機械を破壊して資本家に機械の使用を止めさせる「ラッドライト運動」を起こして大きな社会問題となりました。「AIに仕事を奪われる」という危機感と似ていますね。では、現実には、労働者たちは仕事を失ったのでしょうか。違います。若者たちの活躍によって、機織りに代わる、新たな産業が生まれます。若者は、機械化で大量生産できるようになったニットを使って多彩なデザ

インの衣服を流通させます。いわゆるアパレル業界、ファッション業界を創り上げていったのです。新たな業界では、若者を中心に多くの労働者が生き生きと仕事に従事して、現代につながっています。

このように、技術革新は、単純な仕事を人間から奪う一方で、新たな付加価値を生み出す職業を世の中に生み出してきたという歴史的な事実に着目すれば、「皆さんが大人になるころには、AIに仕事を奪われますよ」はマイナスメッセージではなく、「皆さんが大人になるころには、単純な仕事はAIに任せ、みなさんが創り出す新しい仕事を楽しく、生き生きとできますよ」とプラスのメッセージとして伝えることができます。

皆さんのような未来を拓く若者の可能性は無限です。私は、「高速ネット回線につながっていれば、働く場所に制約されない社会が来る」とか、「スマート農業ってチャンスがいっぱいだ」など、明るい未来に向けた知識や技能を習得しながら充実した学校生活を送っている皆さんを見ています。ですから、日本の明るい未来や、現在は存在しない新しい職業について輝く大人として活躍する皆さんの姿を、思い描くことができます。AIの話で少し暗い気持ちになっている人がいたら、明るい気持ちになってもらえるように、板中生の様子を伝えたいと思っています。

令和三年も暮れようとしています。明日から冬休み、もう八つ寝るとお正月です。今日は、2学期にがんばったこと、成長したことを、家族と一緒に通知表を見ながら振り返ってみましょう。また、家族をはじめ、皆さんの成長を支えてくださるたくさんの方への感謝の気持ちをかみしめましょう。そして、夢を新たに、希望をもって新しい年を迎えてほしいと願っています。

新年、3学期始業式には、新たな決意に満ちた明るい笑顔の皆さんに会えることを楽しみにしています。

冬休みは子供たちをご家庭や地域にお返しします。年末年始の行事を一緒に過ごす時間も多いことでしょう。子供たちに愛情あふれる言葉でたっぷり語り掛け、子供が語る新年の夢や希望に耳を傾けていただきたいと思います。板倉中職員も志を新たに、保護者、地域の皆様とともに子供たちの明るい未来を支えたいと思います。

# 板倉中学校区いじめ見逃しゼロ宣言

私たちは、  
いじめを見逃しません。  
許しません。

そのために、自分を大切にします。  
そして、同じように周りの人も大切にします。

板倉中学校区の小中学校3校で「いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。この集会に至るまでのおよそ1か月間、日頃からの活動に加え、特に「いじめ見逃しゼロ」を意識しての特別活動を各委員会が展開してきました。いじめを見逃さないために何が出来るか。また、どんなことをするといじめを見逃がさないのか。各委員会が出した答えや取組は様々でした。各委員会で工夫した取り組みを紹介します。

総務	絆タイム（縦割り班での活動）	級長会	①拍手キャンペーン②ピアカウンセリング③委員会対抗レクリエーション
JRC委員会	標語作成	図書委員会	心温まるポエム・詩のポスター
体育委員会	手押し相撲NO1決定戦	放送委員会	①各委員会の取組紹介 ②心温まるリクエストCD
保健委員会	コロナ・ネットいじめ防止 ポスター作成	応援委員会	「こんにちは」で挨拶を広げよう運動
給食委員会	感謝を伝える給食タイム	生活委員会	(コラボレーション活動)



絆タイム：1年生～3年生でチームを組んでクイズやゲームに挑戦します。



手押し相撲：2年生の様子



委員会対抗レクリエーション



うれしかった言葉  
ポスター



いじめ見逃しゼロスクール集会に参加して考えたことや、感想。

- ・いじめをしない、させない、許さないという強い気持ちをもつことができた。いじめをなくすためにいろいろな取り組みができること改めて思った。いろいろな活動の様子やその活動に込められた思いなどを改めて知ることができる時間だった。(1年生)
- ・いじめをしないという強い意志で何をするかどんな取り組みをすればよいかを考え、各委員会が考えた取り組みに全力でできたと思っている。いじめを見逃さないきっかけができたと思う。(2年生)
- ・各校の取組もよかった。中学校の各委員会の発表もよかった。今回だけでなく、これからの生活に生かしていきたい。(3年生)
- ・各学校が委員会や学校全体でいじめをなくす、許さないという雰囲気を作ろうと取り組んでいたことがよく伝わってきました。小学生、中学生が成果を発表し合うことで、これからの取組の向上にもつながると思います。(3年)
- ・どの学校の取組も学年という枠を超えて、学校全体で「いじめをなくそう」という雰囲気があり、改めていじめは個人の課題ではないなと感じた。(3年生)
- ・言葉がある限り、誰かに傷つけられたり、傷つけたりするし、いじめをなくすのはとても難しいと感じました。そのために、いじめを見逃さないことが大事だと思いました。(3年生)

## 中倉茂樹氏の人権講話 (11月22日 部落問題学習会)

板倉中学校区では、徳島県人権エンタメ集団「友輝」の中倉茂樹氏を講師に「限界のない人権学習に学ぶ」と題し講演会を行いました。中倉氏の軽妙なお話に一人一人が引き込まれ、自分の気持ちや考えを素直に発言する生徒もいて、充実した素晴らしい講演となりました。部落問題の話を通して、差別の問題を自分事として考えを深めていました。今回の講演会を通して、より一層、今の自分について見つめなおし、部落問題をはじめとしたさまざまな人権の問題に主体的にかかわる実践力を身に付けてほしいと考えています。

生徒の振り返りから(抜粋)

○今日の中倉さんのお話では、差別やいじめはやってはいけないと、改めて感じる事ができました。中倉さんは部落差別を受けてきて、とてもつらく、悲しい人生だったのではと、はじめは思っていました。しかし、つらかった過去を楽しく、明るく話され、過去につらい経験があったとは思わせないようなお話でした。また、中倉さん自身の体験で、「差別」、「いじめ」というのは、自分のまわり、近くにあることだと感じ、絶対にやってはいけないなと思いました。

○「幸せとは、幸せを見つけようとする人生」という中倉さんの言葉を聞いて、確かにその通りだと思いました。中倉さんが彼女のお父さんを説得して、幸せにしようという心が素晴らしいと思う。そしてそのこと自体が幸せだと思いました。

## 1年生 総合的な学習の時間の取組紹介

1年生は、2学期の総合の時間に「地域学習」を行いました。生徒は、自分が追求したいテーマを選び、グループに分かれて学習を進めました。「食」をテーマにしたグループは、板倉の名物を販売する店舗を訪れ、素材へのこだわりや開業のいきさつなどをインタビューし、まとめました。「歴史・偉人」のグループは、偉人と板倉の関係や、山岳仏教の拠点などを追求し、まとめました。「自然・風景」のグループは、板倉の風光明媚な場所の紹介や観光スポットについてまとめました。生徒は、各グループで協力して記事を書き、最終的には、板倉をまるごと紹介するようなタウン誌をつくり、発行する予定です。

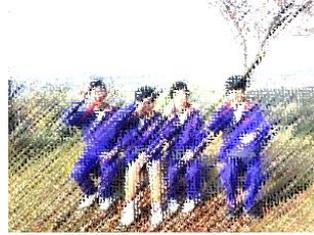


みんな大好き「ニーナ」さんのジェラート。どんなこだわりの素材を使っているのですか？

いつも行列ができてい「はるき」さん。出汁にはどんな秘密があるのですか？



山寺薬師の延命清水。飲んだことありますか？冷たくておいしい山の恵みです。



箕冠山の池には、どんな外来種がいるのか調査しました。調査結果は、また後日！

## ALTのアニサ先生が着任

イギリスで生まれ、オーストラリアのシドニーで育ちました。父はペルシャ人、母は日本人です。新潟県には初めて来ました。板倉中学校に来ることができてとてもうれしいです。どうぞ、よろしくお願いいたします。(11月8日 自己紹介)



アニサ先生のイングリッシュボード

## コロナ禍の教育活動を支えた板中PTA **W受賞**

### 優良PTA文部科学大臣表彰

### 日本PTA全国協議会会長表彰

令和2年度～3年度のコロナウイルスに屈しない板倉中学校 PTA 活動が、高い評価を受けて、PTA団体表彰としては最上位の表彰である、令和3年度「優良PTA文部科学大臣表彰」と「日本PTA全国協議会会長表彰」をダブルで受賞しました。

<取組内容>

- [R2年度] 3年生修学旅行検討委員会、3年生思い出づくり活動(肝試し、芝桜植え、花いっぱい運動)、2年生人生の先輩に学ぶ会 合唱祭上映会、体育祭
- [R3年度] 1年生ロゲイニング、2年生人生の先輩に学ぶ会 3年生修学旅行検討委員会、3年生修学旅行(リアル宝探しゲームへの協力)、体育祭



R3年度 佐藤 PTA 会長



R2年度 藤巻 PTA 副会長

## 輝く栄光

- ◇新潟県中学生バドミントン選手権大会
- ◇新潟県土砂災害防止に関する作文コンクール
- ◇アンサンブルコンテスト

- 男子シングルス2部 第2位 2年 AH
- 男子ダブルス2部 第3位 2年 MH・FD
- 新潟県治水砂防協会会長賞 1年 NS
- 銅賞 管楽打楽器7重奏

## 1月の予定

積雪時の駐車場内や駐車場周辺道路は、大変混み合います。通行の際は、十分に気を付けて走行をお願いいたします。

5(木)	3年生実力テスト(3年生登校日)	24(月)	避難訓練
11(火)	3学期始業式・生徒会新三役任命式	25(火)	教育相談(～28日)
18(火)	私立高校専願一次・併願・推薦入試	26(水)	3年生三者面談(～28日)
20(木)	級長任命式・新委員長委嘱式 生徒総会・引継式	31(月)	3年生第4回定期テスト1日目(翌1日は2日目)